

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年07月20日

計画の名称	3. 総合防災拠点機能を高める公園整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安芸市,高知県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災拠点（地域拠点）及びSCU（広域搬送拠点臨時医療施設）として位置付けられている西八幡公園の既存施設（野球場）の改修を行い、災害時における拠点施設としての機能を高める。</li> <li>・南海トラフ地震に備えた防災機能の向上や、公園施設の老朽化に伴う機能保全・向上対策による安全性の確保のため、防災拠点としての機能を有する公園の整備や施設の改築・更新等を行い、誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,543	A	6,543	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災拠点（地域拠点）としての機能を十分に発揮するために、拠点本部室等の確保及び進入路の整備</li> <li>・高知県東部エリアの地域防災拠点本部として活動可能な屋内スペースの確保</li> </ul>	154㎡	154㎡	250㎡
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域拠点における災害関連施設としての利用割合</li> <li>・災害時における防災関連施設の利用可能率 (災害時の防災関連施設利用率) = (災害時に利用可能な施設面積) / (全防災関連施設面積)</li> </ul>	82%	82%	94%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

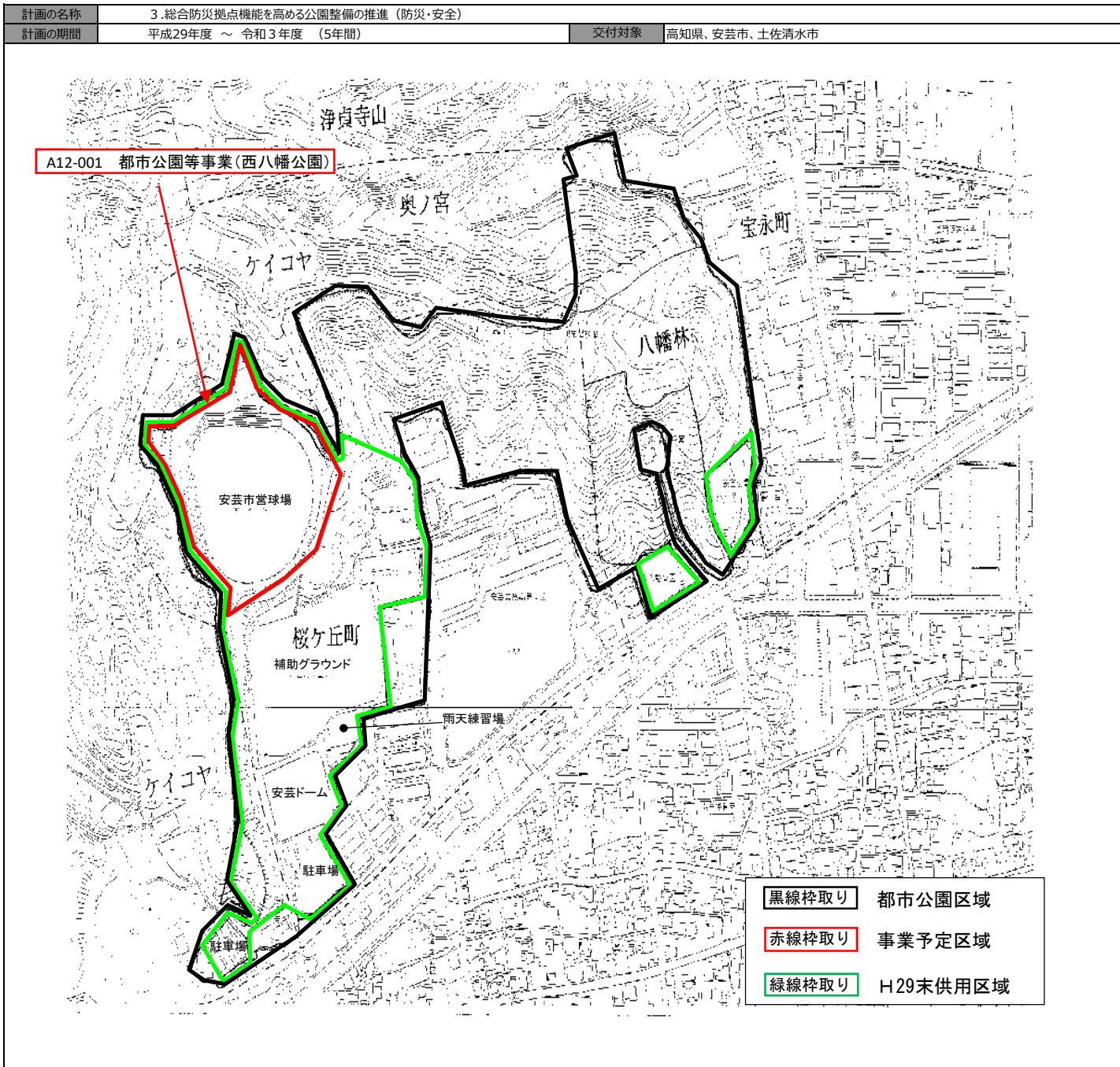
A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	安芸市	直接	安芸市	-	-	都市公園等事業(西八幡公園)	野球場改修	安芸市						3,543	-	策定済	
	A12-002	公園	一般	高知県	直接	高知県	-	-	都市公園事業(春野総合運動公園)	防災拠点施設整備等	高知市						3,000	-	策定済	
			過年度は別事業で実施																	
												小計						6,543		
												合計						6,543		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高知県公園下水道課内で実施	事後評価の実施時期 令和3年7月
	公表の方法 高知県庁ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>西八幡公園野球場のライト側進入路周辺整備を優先したことにより、屋内スペースの確保は進まなかったが、災害時にも活用できる耐震性貯水槽を整備し防災対応力の向上を図ることができた。</li> <li>春野総合運動公園は、大規模災害時の総合防災拠点のひとつとなっているが、物資配送拠点の屋内運動場や自衛隊の活動拠点となる野球場の耐震化を実施することで防災対応における拠点整備が進展した。</li> </ol>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和2年度からは、社会資本総合整備計画「1.安全で安心な公園整備の推進（防災・安全）（第2期）」において災害時の拠点整備を継続していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	災害対策本部等の連絡調整・指揮機能、情報通信機能における必要スペース		
	最終目標値	250㎡	災害時に災害対策車両等のスムーズな通行を確保するため、西八幡公園野球場のライト側進入路周辺整備を優先的に実施したこともあり屋内スペースの確保が進まなかった。
	最終実績値	154㎡	
2	$(\text{災害時の防災関連施設利用率}) = (\text{災害時に利用可能な施設面積}) / (\text{防災関連施設面積})$		
	最終目標値	94%	春野総合運動公園の野球場耐震化により94%を目標としていたが、併せて屋内運動場の非構造部材の耐震化も終了したことにより目標を上回る実績を上げることができた。
	最終実績値	97%	

(参考図面) 防災・安全交付金



(参考図面) 防災・安全交付金

